



Port Plus

募集スケジュール

第Ⅰ期

第Ⅱ期

春頃
(1か月程度)

夏頃
(1か月程度)

※各年度の状況により、募集期間、募集回数に変更となる可能性があります。

※具体的な募集期間は各年度の国土交通省の募集開始のプレスリリースをご確認ください。

その他要件の詳細や応募様式は
募集要領等をご確認ください。

評価事務局HP

募集要領、応募様式
<http://www.sendo-shien.jp/>



国土交通省HP

木造住宅・建築物の振興施策
<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/mokuzou.top.html>



都市に「第2の森林」を

国土交通省では木材利用の促進に向けて
木造建築物のプロジェクトを応援しています!

2023年4月発行

本パンフレットからの無断転載を禁じます。また無断複写・複製(コピー等)は著作権法上の例外を除き、禁じられています。

問合せ先 評価事務局 HP参照

国土交通省 住宅局 木造住宅振興室

サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)及び優良木造建築物等整備推進事業 評価事務局

なぜ建築物で木材利用が重要か？

～ 2050年カーボンニュートラルへの貢献 ～

- 木材は、森林が吸収した大気中のCO₂を貯蔵しています。建築物に木材を利用することで、長期間にわたって炭素を貯蔵することができます。
- また、木を「伐って、使って、植える」という森林の若返りが図られ、ひいては森林のCO₂吸収量の強化につながります。
- さらに、木材は鉄やコンクリートなどの資材に比べて製造や加工に要するエネルギーが少なく、木造建築物の場合、建設に係るCO₂排出量を削減することができます。
- 民間企業におけるSDGsへの対応やESG投資の観点からも、木造建築物は注目されています。

そのため、国土交通省では、中大規模の木造建築物への支援制度を設け、**具体のプロジェクトを応援しています！**

サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)を活用した近年の竣工事例

ザ ロイヤルパーク キャンパス札幌大通公園 (三菱地所 株式会社)

- 11階建のうち、上層3階(9～11階)を木造としたホテル
- 木造部分の壁は枠組壁工法、床はCLTとすることで、地域の職人により施工可能な技術を採用
- 高層建築に必要な技術はゼネコン等と協働することで、地域における高層木造施工技術の確立を図っている



ザ ロイヤルパーク キャンパス
札幌大通公園



HULIC & New
GINZA 8

HULIC & New GINZA 8 (ヒューリック 株式会社)

- 木造と鉄骨造の混構造による12階建ての商業施設
- 耐火集成材による木造架構部分と高剛性な鉄骨ラーメン架構を平面的に組み合わせることで、都心の狭小地に高層の木造空間を実現

大子町新庁舎 (茨城県大子町)

- 木造軸組構法による町役場庁舎
- 耐震要素として「方杖構造」を採用し、見通しのよい庁舎機能を実現
- 「燃えしろ設計」による準耐火建築物とし、構造用木材を「あらかわ」で活用



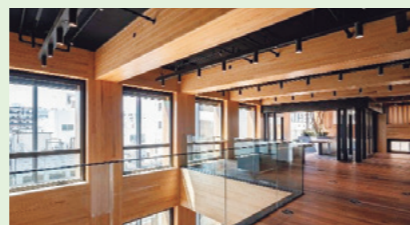
大子町新庁舎

表紙の事例は…



Port Plus (株式会社 大林組)

- 地上11階建て純木造の高層耐火建築物の研修施設
- 柱梁接合部を工場ユニット化することで、バラつきを抑えた高い施工性を実現
- 1階には独自に3時間耐火仕様の柱を採用



支援制度名	サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)	優良木造建築物等整備推進事業	
制度趣旨	先導性の高い木造建築物のプロジェクトに対する支援	木造化の普及に資する優良なプロジェクトに対する支援	
主要な要件	構造	木造の建築物 (木造と他構造との混構造を含む)	
	用途	全て	不特定の者の利用 又は 特定多数の者の利用に供するもの (事務所、共同住宅、児童福祉施設、高齢者福祉施設、宿泊施設、教育施設、商業施設 等)
	規模	防火地域 又は 延べ面積500㎡超 準防火地域の場合 : 又は 階数3以上 上記以外の場合 : 延べ面積1,000㎡超 又は 階数3以上	共同住宅等の場合 : 階数4以上 非住宅の場合 : 延べ面積1,000㎡超 又は 階数3以上 (ただし、建築基準法上、耐火構造 又は 準耐火構造とすることが求められるものに限る)
	先導性	次の先導性等について、 有識者委員会で評価されること ● 構造・防火面での設計・施工技術 ● 木材利用に関する生産システム ● 耐久性への配慮	—
	普及	● 先導的な技術の検証、公表 ● 竣工時に多数の目に触れることを計画すること (内覧会・見学会や地域のイベントなど) ● 炭素貯蔵量を算定・表示すること 等	● 竣工時に多数の目に触れることを計画すること (内覧会・見学会や地域のイベントなど) ● 炭素貯蔵量を算定・表示すること 等
省エネ	省エネ基準適合 (地方公共団体が建築する場合、) (ZEH・ZEB水準に適合すること)		
補助額	● 先導的な木造化に係る ・ 調査設計計画費の1/2以内 ・ 建設工事費の15% 又は 掛増し費用の1/2以内 ● 上限5億円	● 木造化に係る ・ 調査設計計画費の1/2以内 ・ 建設工事費の10% 又は 掛増し費用の1/3以内 ● 上限3億円	

※2つの支援制度は、併願又は併用が可能です。併用する場合は、2つの補助対象部分が明確に切り分けられる必要があります。